

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-11 女性センター運営事業				タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1227	女性センター運営事業	
主管課	人権・男女共同参画課		関連課				
分野名	男女共同参画社会						
目標 (目標値)	女性(男女共同参画)センターの整備について検討する。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	895千円	605千円				
	(国・県)			指標と評価			
	(負担金等)			指標			
	(一般財源)	895千円	605千円	評価			
	人員配置数	0.1人	0.1人				
	人件費	885千円	923千円	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	協働の パートナー	アンサンブル21	アンサンブル21		目標値	実績値	
事務事業 運営経費	総事業費	1,780千円	1,528千円	20年度			
	市民1人当 りの経費	10円	9円	21年度			
	対象者1人 当りの経費			22年度			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	横浜市	藤沢市	逗子市		23年度	
	女性のため の総合的施設	3ヶ所	なし	なし		最終年度 (年度)	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)男女共同参画推進の拠点となる(仮称)女性センターの将来構想の検討。 (2)暫定利用中の旧鈴木邸(由比ガ浜三丁目)では、立地上の面などから市民の利用に制約がある。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 「アンサンブル21」女性史編さん部会の活動拠点(資料室、会議室)として活用し、平成21年度は『(仮称)かまぐら女性史 通史』の編集作業を行った。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 男女共同参画推進の拠点となる(仮称)女性センターの将来構想の検討。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 男女共同参画事業における市民活動の充実・拡充や女性相談体制の環境整備が望まれているが、この活動拠点となる(仮称)女性センターについては、その果たすべき役割とともに、事業内容についても検討していく必要がある。					
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	(仮称)女性センターのあり方を十分精査し、関係機関・部署とのつながり、類似施設との整合性等を検討しながら、今後の方向性を打ち出していくべきと考える。		評価結果	改善の必要性	(仮称)女性センターの必要性について、十分な検討を行い、事業の方針を考える。	
C	有			C	有		
課長名		植地 由美子		部名・部長名		市民経済部・小磯 一彦	